

たかおか

市議会 だより

No.73 12月定例会号
令和6年(2024年)2月1日発行

12月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	4P
議会の新しい構成	5P
一般質問(一括質問・一括答弁)	6P
一般質問(一問一答)	9P
委員会の動き	12P

編集■広報広聴委員会

発行■高岡市議会

〒933-8601 高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail: gikai@city.takaoka.lg.jp

「安寧な日々を願って」(たかおか市議会だより表紙写真 応募作品)



令和6年能登半島地震により犠牲となられました方々とその御遺族に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。また、全国各地からの心温まる支援に対し厚く御礼申し上げます。

高岡市議会議員一同

市議会ホームページから過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議の録画映像は YouTube で配信しています。
パソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

ホームページは
こちら→



YouTube の
視聴はこちら→



補正予算・条例・令和4年度決算など

26議案を可決・認定

一般質問に13人が登壇

12月定例会は1日に開会し、20日に閉会しました。

初日には、継続審査となっていた令和4年度決算などの4議案を可決・認定しました。

市長から令和5年度一般会計補正予算をはじめ22議案が提出され、全ての議案を可決しました。

今定例会では、一般質問に13人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・認定した 主な議案等

条例

国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険の被保険者が出産する場合、出産予定月の前月（多胎妊娠の場合には3月前）から出産予定月の翌々月までの期間に係る出産被保険者の国民健康保険税（所得割額及び均等割額）の免除制度を創設するもの。

手数料条例の一部改正

政令の改正に伴い、所要の改正を行うもの。

（施行期日）

戸籍事務に関する手数料は

【戸籍事務に関する手数料】

内 容	手数料
戸籍謄本、除籍謄本等の交付（本籍地以外での交付を追加）	戸籍 450円 除籍 750円 ＜改定なし＞
* 戸籍電子証明書提供用識別符号、除籍電子証明書提供用識別符号の発行	戸籍 400円 除籍 700円 （マイナポータルを通じた請求や同一事項の戸籍謄本、除籍謄本等と同時に請求する場合は手数料の徴収なし）
受理証明書、届書等の記載事項証明書の交付（電子化された届書等情報の内容の証明書の交付を追加）	350円 （上質紙は1,400円） ＜改定なし＞
届書等の閲覧（電子化された届書等情報の内容を表示したものの閲覧を追加）	350円 ＜改定なし＞

その他

工事請負契約の締結

都市計画道路下伏間江福田線の京田地下道2期工事における本体工事を行うもの。

契約金額 2億1,890万円

工事請負契約の変更

高岡西部中学校区統合小学校に係る公共工事について、追加工事等により、契約金額を変更するもの。

(1) 校舎改修及び増築その1工事（東棟、体育館等）
（変更前） 2億4,310万円
（変更後） 2億5,637万円

(2) 校舎改修及び増築その2工事（管理棟、特別教室棟等）
（変更前） 2億1,406万円
（変更後） 2億2,130万円

(3) 校舎改修及び増築機械設備工事（空調設備等）
（変更前） 1億9,943万円
（変更後） 2億5,700万円

(4) 校舎改修及び増築機械設備工事（空調設備等）
（変更前） 1億9,943万円
（変更後） 2億5,700万円

財産の取得

浸水対策として、排水ポンプ車、排水ポンプユニットを購入するもの。

(1) 排水ポンプ車

取得価格 6270万円

(2) 排水ポンプユニット（2台）

取得価格 8459万円

選挙

小矢部川中流水害予防組合
議会議員補欠選挙

山口 泰祐 議員
出町 議議員



高岡西部中学校区統合小学校校舎改修・増築工事

高岡地区広域圏事務組合議会議員補欠選挙

新開 広恵 議員

梅島 清香 議員

篠井 哲治 議員

林 貴文 議員

砺波地方衛生施設組合議会議員補欠選挙

山上 尊士 議員

中川 加津代 議員

富山県後期高齢者医療広域連合議会議員補欠選挙

篠井 哲治 議員

金森 一郎 議員

庄川水害予防組合議会議員選挙

高木 達郎 氏

杉本 満 氏

篠井 哲治 議員

高岡 宏和 議員

福井 直樹 議員

上田 武 議員

大井 正樹 議員

討論要旨

— 令和4年度決算 —

○未来創政会

《全会計：賛成》

水道事業会計では、基幹管路の更新、国吉配水場基幹施設整備事業を行うなど、安全で安心な水道水の安定供給と、地震などの災害に強い水道施設の構築に努めたことを評価する。下水道事業会計で

は、市中心部の老朽管路の更新、浸水対策として蓮花寺東雨水枝線整備事業などを実施したことを評価する。将来にわたり安全で安心な上下水道の維持を求める。市民病院事業会計では、新型コロナウイルス感染症の受入れのため、専用病床の確保や器械設備の導入、感染症内科の開設などに取り組み、医療従事者が一丸となって安定的に医療を提供したことを評価する。また、院内保育所からキッズを開所し、子育て世代の若手医師や看護師等の働きやすい環境を整備したことも評価する。

総合計画第4次基本計画の1年目として、時代の変化へ対応した環境づくり、未来に向けたひとつくりなどに取り組みとともに、財政健全化緊急プログラム終了後も、予算管理の徹底や事業の選択と集中など、不断の姿勢による行財政改革の取組を評価する。健全な財政状態を維持しつつ、財政規律の弾力化を図るなど、積極的な財政施策を進めることも必要である。持続可能な未来都市高岡の実現に向けて挑戦を続け、市民、地域、企業が主体となって活躍し、次の世代へと引き継いでいけるよう努めることを期待する。

○自由民主党高岡市議会議員会 《全会計：賛成》

水道事業会計では、安全で安心な水道水の安定供給、災害に強い水道施設の整備、漏水調査による修繕に伴う無効水量の減少を評価する。工業用水道事業会計では、厳しい経営状況にあるが、料金の見直しや施設の長寿命化など、経営改善に努めたことを評価する。下水道事業会計では、民間の技術力を生かした包括的業務委託を実施するとともに、業務の効率化を図るため、DXの取組として水位センサーを活用した管渠の不明水調査を実施したことを評価する。市民病院事業会計では、感染症内科と緩和ケア内科の開設、高速で高精度なMRI装置への入替えの実施など、医療の提供体制の一層の充実を図ったことを評価する。訪問看護の需要も高まっており、今後により良い医療環境の充実を要望する。

財政健全化緊急プログラム終了後の1年目において、投資的経費の抑制などを進め、市債残高も1000億円を下回るなどの成果を評価する。中長期的な視点に立った計画的な財政運営を進めるとともに、行財政改革推進プランに基づき、真に収支均衡した持

続可能な行財政運営を期待する。総合計画第4次基本計画に掲げる施策の早期実現により、市勢の一層の発展に取り組み、新しい時代に向けて挑戦を進めることを期待する。

○立憲民主・市民議員団

《全会計：賛成》

水道事業会計、工業用水道事業会計、下水道事業会計では、良質な水の安定供給と公衆衛生の向上、地震等の災害に強い施設の構築等を評価する。蛇口をひねれば安全・安心な水が出て、下水道を通り処理するあたりまえを継続し、料金の引き下げに向けた経営努力を要望する。市民病院事業会計では、新型コロナウイルス感染症患者への対応、感染症内科、緩和ケア内科の開設、たからキッズの開所など、時代に即した対応を評価する。今後も公的病院として市民の健康と命を守ることを最優先とし、不採算な部門の更なる充実を要望する。また、医師の確保、職員定数の増加を含め、大幅な医療スタッフの増員を要望する。

長期化するコロナ禍と物価上昇の中で、輸入飼料価格高騰の影響を受けている畜産業者への支援や、物流業界や福祉施設への物価燃料高騰対策を評価する。一方で、子育て

支援は不十分と懸念しており、特に放課後等デイサービス事業所へ行政として積極的に働きかけ、現場に寄り添った支援を求める。教育面では、インターネット導入や35人学級のための教室拡充、給食費補助などを評価しつつも、教育現場が児童生徒に寄り添い、すべての子どもたちにとって学校が安心できる場となることを求める。

○高岡愛

《全会計：賛成》

水道事業会計では、経常収支比率が116.6%で、安定的な経営状態を保っており、包括的業務委託による効率的な事業運営を評価する。下水道事業会計では、支払利息等の管理経費の削減など、経営の健全化の取組を評価する。膨大な下水道インフラの維持に向け、将来、負担が集中することのないよう適切な運営を求める。市民病院事業会計では、キャッシュ・フローが2億円以上の赤字であったが、期末残高は約18億円と比較的安定している。企業債残高も減少傾向で、効率的な運営を評価する。第5期中期経営計画改定の準備段階において、将来を見据え、どのような病院を目指すべきか、様々な状況を踏まえた検討を要望する。将来負担比率は前年度から

約15%減少した105.1%で、財政健全化のこれまでの取組を改めて評価する。将来世代に負担を先送りすることのないよう、健全な財政運営を要望する。少子化による生産年齢人口の減少に加え、年々大きくなっていく民生費への対応、また、学校再編による大型事業も進行中であり、今後はこれらの課題をいかに乗り越えていくかが重要である。持続可能で元氣な高岡を将来に残していくことが市民の願いであり、将来を見据えた運営を要望する。

○公明党

《全会計：賛成》

水道事業会計では、国吉配水場基幹施設整備事業など、安全、安心な水道水の供給と地震等の災害に強い水道施設の整備や、漏水調査による修繕での無効水量の減少を評価する。工業用水道事業会計では、料金の見直しを図ったところであり、引き続き施設の長寿命化を進め、経営改善を求める。下水道事業会計では、老朽管路の更新、浸水対策、DXの取組として水位センサーを活用した管渠の不明水調査を評価する。市民病院事業会計では、感染症内科、緩和ケア内科を開設し、医療提供体制を強化したことを評価する。引き続き経営の安定化や

人材の確保、育成に取り組み、公立病院として地域の住民に寄り添い、最も信頼され、選ばれる病院になることを要望する。

財政健全化緊急プログラム終了後の1年目であったが、投資的経費の抑制、事務事業の見直しなどを進め、市債残高も1000億円を下回るなどの成果を評価する。行財政改革推進プランに基づき、収支均衡した持続可能な運営を求める。ひとの力をテーマとする総合計画第4次基本計画に基づくとともに、脱炭素先行地域への選定をチャンスと捉え、サーキュラーエコノミーモデルの構想に向け、未来につながる挑戦を要望する。

会派構成変更のお知らせ

一部の会派において、所属議員が次のとおり変更となりました。
※議席順
(令和5年12月20日現在)

自由民主党

高岡市議会議員会(5名)

林 貴文 山口 泰祐
藪中 一夫 中川 加津代
福井 直樹

無所属(1名)

横田 誠二

議決結果一覧表 (令和5年12月定例会)

[議案]

番号	件名	結果
第70号	令和4年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決
第71号	令和4年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
第78号	令和5年度一般会計補正予算(第4号) 43億9,001万円 ＜補正予算の主な内容＞ ・大雨災害対策事業 8,120万円 ・こども・妊産婦医療費助成事業 6,400万円 ・障害児通所等支援事業 5,520万円 ・高岡古城公園維持管理事業 2,000万円 ・市債の繰上償還 9億3,135万円 ・市債の借り換え 25億453万円 など	
第79号	令和5年度国民健康保険事業会計補正予算(第2号)	
第80号	令和5年度駐車場事業会計補正予算(第2号)	
第81号	令和5年度介護保険事業会計補正予算(第3号)	
第82号	令和5年度後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	
第83号	令和5年度高岡市民病院事業会計補正予算(第2号)	
第84号	令和5年度水道事業会計補正予算(第2号)	
第85号	令和5年度工業用水道事業会計補正予算(第1号)	
第86号	令和5年度下水道事業会計補正予算(第1号)	
第87号	市職員の給与に関する条例等の一部改正 「市職員の給与に関する条例の一部改正」 「市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正」 「市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正」 「市上下水道事業管理者の給与等に関する条例の一部改正」	
第88号	市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	
第89号	国民健康保険税条例の一部改正	
第90号	工事請負契約の締結 (下伏間江福田線立体交差整備2期その1工事)	
第91号	工事請負契約の変更 (高岡西部中学校区統合小学校校舎改修及び増築その1工事)	

[議案]

番号	件名	結果
第92号	工事請負契約の変更 (高岡西部中学校区統合小学校校舎改修及び増築その2工事)	可決
第93号	工事請負契約の変更 (高岡西部中学校区統合小学校校舎改修及び増築機械設備工事)	
第94号	財産の取得(排水ポンプ車)	
第95号	財産の取得(排水ポンプユニット)	
第96号	令和5年度一般会計補正予算(第5号) 16億5,430万円 ＜補正予算の主な内容＞ ・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金 給付事業(追加給付分) 11億6,050万円 ・電気料金(特別高圧)高騰対策事業 8,000万円 ・がんばる商店街づくり推進事業 2,800万円 ・商工団体等支援事業 2,000万円 など	
第97号	令和5年度高岡市民病院事業会計補正予算(第3号)	
第98号	令和5年度下水道事業会計補正予算(第2号)	
第99号	手数料条例の一部改正	

[認定]

番号	件名	結果
第1号	決算の認定 (令和4年度高岡市民病院事業会計決算) (令和4年度水道事業会計決算) (令和4年度工業用水道事業会計決算) (令和4年度下水道事業会計決算)	認定
	決算の認定 (令和4年度一般会計歳入歳出決算) (令和4年度国民健康保険事業会計歳入歳出決算) (令和4年度荻布奨学金事業会計歳入歳出決算) (令和4年度駐車場事業会計歳入歳出決算) (令和4年度介護保険事業会計歳入歳出決算) (令和4年度後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算)	

[議員別賛否一覧] (賛否が分かれた議案等のみ)

○…賛成 ×…反対 一…欠席 ※…議長は表決に加わりません。

議案番号	議員名	山上	新開	梅島	田中	熊木	出町	埜田	筏井	中村	高岡	酒井	林	山口	石須	本田	横田	藪中	中川	坂林	福井	上田	金森	曾田	水口	大井	狩野
		尊士	広恵	清香	勝文	義城	譲	悦子	哲治	清志	宏和	善広	貴文	泰祐	大雄	利麻	誠二	一夫	加津代	永喜	直樹	武	一郎	康司	清志	正樹	安郎
議案 第78号～第99号		○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	一	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議会の新しい構成決まる

12月定例会初日の1日に、議長・副議長の辞職に伴う選挙を行いました。

また、常任委員会の所属変更、議会運営委員会・特別委員会等の委員を選任し、議会諸役員を改選しました。



本田議長

横田副議長

議長、抱負を語る

12月定例会において議長を拝命し、その責務の重大さを感じております。

さて、本市は、令和5年11月に県内自治体で初めて脱炭素先行地域に選定されました。世界共通の喫緊の課題に対し、市民、事業者、行政それぞれが力を合わせ、脱炭素社会の実現に取り組んでいかねばなりません。

また、人口減少社会における社会情勢の変化に対応するため、議会では、新たに人口減少社会対策特別委員会を設置しました。地域の担い手不足が顕在化する中で、市立公民館の地域交流センター化

や多機能地域自治の推進、市民協働型地域交通システム導入の促進等について、議会でも議論を加速させ、市民生活がより豊かなものになるよう努力してまいります。

あわせて、県や関係団体等と協議を進めている城端線・氷見線再構築や高岡テクノドーム別館整備など、本市を取り巻く重要な諸課題についても地元議会として積極的に関わってまいります。

議長として「和を以て貴しとなす」の言葉を大切にして、互いを尊重し議論できる環境づくりに向けて緊張感を持って誠心誠意取り組んでまいります。

議長に 本田 利麻 氏 副議長に 横田 誠二 氏

略歴

本田議長 副議長、民生病院常任委員長、広報広聴委員長、行財政改革特別委員長など

横田副議長 総務文教、民生病院、産業建設の各常任委員長など

◎委員長 ○副委員長

※委員長・副委員長以外は議席順。

産業建設 常任委員会	民生病院 常任委員会	総務文教 常任委員会
◎高岡 宏和 ○田中 勝文 熊木 義城 酒井 善広 山口 泰祐 横田 誠二 上田 武 水口 清志	◎筏井 哲治 ○梅島 清香 山上 尊士 林 貴文 石須 大雄 藪中 一夫 坂林 永喜 曾田 康司 狩野 安郎	◎中村 清志 ○新開 広恵 出町 譲 埜田 悦子 本田 利麻 中川加津代 福井 直樹 金森 一郎 大井 正樹

議会改革 検討委員会	広報広聴 委員会	議会運営 委員会
◎金森 一郎 ○中村 清志 新開 広恵 出町 譲 筏井 哲治 高岡 宏和 林 貴文 石須 大雄 福井 直樹 曾田 康司	◎中村 清志 ○山上 尊士 梅島 清香 田中 勝文 熊木 義城 埜田 悦子 高岡 宏和 酒井 善広 山口 泰祐 中川加津代	◎酒井 善広 ○高岡 宏和 山上 尊士 田中 勝文 出町 譲 埜田 悦子 筏井 哲治 林 貴文 藪中 一夫 曾田 康司

*人口減少社会 対策特別委員会	*港湾・交通・観光 対策特別委員会
◎曾田 康司 ○筏井 哲治 新開 広恵 梅島 清香 出町 譲 埜田 悦子 中村 清志 林 貴文 山口 泰祐 中川加津代 金森 一郎 水口 清志	◎石須 大雄 ○高岡 宏和 山上 尊士 田中 勝文 熊木 義城 酒井 善広 藪中 一夫 坂林 永喜 福井 直樹 上田 武 大井 正樹 狩野 安郎

一般質問

(一括質問・一括答弁)

今定例会では、8人が市政全般にわたり一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



熊木 義城
高岡 愛

熊木議員の
質問の様子はこちら



プラスチックの一括回収

実証実験を踏まえた、今後の本市の動きは。

生活環境文化部長 現在、一括回収した廃棄物の組成調査、住民アンケートなどから、課題等を洗い出している。今後、アンケートや調査結果の分析を踏まえ、廃棄物減量等推進審議会での審議を経て、新たな分別基準やごみ袋の方式などについて、令和5年度中に確定する予定である。6年10月からの一括回収の本格実施に向け、広報誌やホームページ等を活用し、新たな分別基準等を周知するとともに、住民説明会を開催し、きめ細やかで丁寧な説明を重ねていく。

子育てしやすいまち高岡

子育てしやすいまち高岡

の実現について問う。

(1) プレ妊活健診助成の導入を検討しては。
(2) 不妊治療助成制度について、保険が適用された状況を踏まえ、市としての支援の内容を再検討しては。

福祉保健部長

(1) 将来子どもを望む夫婦が、プレ妊活健診をきっかけに、将来のライフプランを考え、食事や運動など健康的な生活習慣を身につけることにより、妊娠、出産、産まれてくる子どもの健康が期待できると考えている。このため、本市としては、若い世代が健診を受診しやすくなるよう、助成制度の導入を検討していく。

(2) 本市では、不妊治療助成制度が若い世代に利用しやすく、出生数の増加につながる助成制度となるよう改善を重ねてきた。不妊治療は頻繁な通院が必要で、そのたびに仕事を休まなければならないなど本人の心理的負担は大きく、その軽減、解消には、周囲や職場の理解、協力も必要となる。このことから、不妊治療を受けている本人への経済的支援



林 貴文
自由民主党
高岡市議会議員

林議員の
質問の様子はこちら



文化財建造物の保存継承

文化財建造物の未来を見据え、保存継承を市としてどのように取り組むのか。

教育長 文化財建造物を次世代へ継承していくためには、所有者と保存継承に向けた意識の共有が大切と考えている。このため、本市では、所有者と対話を重ねながら、瑞龍寺保存整備事業や勝興寺保存修理事業をはじめとする建造物の修理などの支援のほか、町並み保存・都市景観形成事業補助金の拡充などの支援を行ってきた。また、国宝や重要

文化財等の建造物の耐震対策を強化していく国の方針を踏まえ、本市でも国宝や重要文化財の耐震対策について、所有者などと協議を進めている。

高峰讓吉博士の顕彰

高峰博士の偉業に対し、その顕彰を関係諸団体と協力し米国に働きかけるべきでは。

教育長 米国の特許商標庁関係の博物館からNPO法人高峰讓吉博士研究会に対し、2024年の展示物として高峰博士の画像・展示品等の資料提供の協力依頼があったと伺っている。米国で高峰博士の偉業が伝えられる良い機会であるため、本市顕彰会としても、研究会と連携し、可能な限り協力していく。



高峰博士の偉業が残るワシントン、ポトマック河畔

みなと振興

アフターコロナにおける地域活性化のため、みなとオアシス伏木の代表・構成施設で人々が集う交流イベントを企画しては。

産業振興部長

コロナ禍においては、みなとオアシス伏木の構成施設を活用してノルディックウォーキングを実施した。令和5年度には、寄港したクルーズ船や護衛艦を見学できるよう、伏木コミュニティセンターの展望テラスを開放したほか、伏木港まつりでは、万葉ふ頭緑地が花火大会の会場として活用された。今後も各種施設を活用した住民参加による交流イベント等を継続的に実施していきたい。



埜田 悦子
立憲民主
社民議員団

埜田議員の
質問の様子はこちら



障がい者福祉の充実

障がい者福祉・障がい児福祉について問う。

(1) 相談支援専門員への助言・指導を行う主任相談支援専門員の配置状況は。また、増員

の必要性について、見解は。
(2)障がい者の避難行動要支援者名簿の登録状況と、促進のための取組は。

福祉保健部長 (1)本市には、

令和3年度から主任相談支援専門員養成研修修了者が4名いるが、5年度は、知的障がい分野で1名が欠員である。相談支援事業所への後方支援や複雑化した課題を抱える世帯のための支援体制ネットワークづくりなどを行うことで、障がい福祉を支えるためにも、補充が必要と考えている。

(2)5年11月1日現在の要支援者1万1344人のうち、関係機関へ個人情報共有を同意している人数は3796人で、このうち、身体障害者手帳などを持っている方は、約950人である。障がいのある方の登録者はほぼ高齢者で、若い方への制度周知が十分とは言えない状況であり、本人の障がい特性に沿って災害発生時の避難計画を立てる必要がある。今後は、障がいの相談支援事業所などに対し、避難行動要支援者名簿について説明のうえ、登録の促進に向けて協議していく。

児童生徒への性被害対策

問 学校教育の場における児童生徒の性被害の実態把握や

相談体制の現状は。また、啓発や未然防止教育の取組は。

教育長 学校では、定期的に面接や迷惑行為調査を行い、実態調査に努めている。児童生徒から悩みや被害を訴えてきた場合や認知した場合には、スクールカウンセラー等の専門家の協力を得て、児童相談所や警察等とも連携を図って対応している。また、性被害等を未然に防止するため、法務局のこどもの人権SOSミニレターの活用や、市男女平等推進センターの予防啓発講座等を開催している。



田中 勝文
未来創政会

田中議員の
質問の様子はこちら



教育環境の改善・充実

問 教育環境について問う。

(1)タブレットの活用推進、児童生徒用教材の軽量化のため、デジタル教科書を導入しては。デジタル教科書の導入は、幅広い地域住民の参画を得て、土曜学習、放課後子ども教室の充実を図っては。

教育長 (1)デジタル教科書に

ついては、国の実証事業を活用し、全小中学校に英語科を、

一部の小中学校に算数・数学科を導入している。デジタル教科書の活用により、児童生徒が時間や場所に依らず学習を進めることができるほか、毎日多くの学習教材を持ち運ぶ必要がなくなることから、軽量化にもつながると考えられる。タブレットの活用推進と教材の軽量化は大切と考えており、国のデジタル教科書に関する施策等の動向を注視しつつ、本市独自の手法が考えられないか研究したい。

(2)土曜学習や放課後子ども教室は、多様な経験や技能を持つ地域の高齢者や保護者の参画により実施しているが、地域によっては指導員不足や後継者不足が課題となっている。今後、教職員OBや学生の活用、あるいは担い手育成のための講座の充実を図るなど、地域の人材確保に努めたい。

eスポーツの推進

問 市老人クラブ連合会でのeスポーツの活用状況と、本市の関わりは。

福祉保健部長 連合会では、令和5年度から7地区においてeスポーツ用機材を購入し、各公民館等で定期的にeスポーツを実施している。さらに、市内全30地区での実施を目指し、6年度以降も機材の設置



eスポーツ大会の様子 (写真はTakaoka ePark)

を予定しており、本市としては、今後もeスポーツ活動推進事業補助金により、この活動の支援を継続していきたい。また、連合会と連携し、地域の通いの場でのeスポーツの普及・定着の支援を行うこととしており、多世代交流の場を創出し、地域における見守りや絆づくりのための体制強化につなげたい。



梅島 清香
未来創政会

梅島議員の
質問の様子はこちら



英語教育の充実

問 本市独自の英語教育を今

後どのように進めていくのか。

市長 子どもたちが英語を話せる環境をつくるために姉妹都市交流を活用することを考え、令和5年10月に米国フォートウェーン市を訪問し、英語教育交流の促進について提案等を行った。大学においては、パデュー大学の英語教育プログラムを市内の大学に導入することで合意し、授業開始に向けて調整を進めている。高校においては、コロナ禍で中止していた高校生派遣事業を再開するとともに、市内の高校での導入を見据えた英語教育プログラムの活用内容を検討している。小中学校においては、6年度中にビデオレター方式で、お互いの児童生徒が交流できるよう準備をしている。今後も、高岡ならではの英語教育交流の充実、発展に努めていく。

高岡のものづくり産業

問 高岡のものづくり産業の可能性について問う。

(1)高岡伝統産業青年会主催の「ツギノテ」イベントが行われたが、様々な可能性を活かすために本市として今後どのように関わっていくのか。

(2)海外販路を作っていくということだが、どのような調査をし、どのような計画を進め

ていくのか。

産業振興部長 (1)「ツギノテ」

は、新商品開発等の新たなものづくりにつながる取組と捉えている。本市としては、まずは青年会内の議論を見守りつつ、現在、青年会を含めた関係者と議論を深めている高岡クラフトコンペ事業の新たな姿を見定めながら、本市の伝統産業が次の時代につながるよう努めたい。

(2)海外都市との経済交流をより深め、海外販路の道筋を探るため、現地ニーズやバイヤー等の調査委託、ウェブ商談会を実施する。今後は、調査結果等を海外販路開拓に挑戦する市内企業と共有し、高岡のものづくり技術が海外企業と連携し、世界に売り込まれていくことを目指していく。



上田 武
立憲民主
社民議員団

上田議員の
質問の様子はこちら



城端線・氷見線の再構築

公共交通の活性化は、まちづくりと脈をいづくりにつなげることが大事であるが、今後の協議に本市としてどう

臨むのか。

市長 第4回城端線・氷見線

再構築検討会では、JRからあいの風とやま鉄道への経営移管をおおむね5年後とすることや、事業費やJRからの拠出金などを含めた再構築実施計画案が示された。この計画案は両線の持続性や利便性の向上を担保する内容であると受け止めている。本市としては、県西部全体の未来を見据え、地域公共交通網の必要性を訴えていくとともに、まちの賑わいにつながる重要なことであることと認識しており、引き続き、検討会の構成員と連携、協力していきたい。

万葉線の利用促進

親子利用を促進するため、未就学児が無料となる人数制限を緩和しては。

未来政策部長

近年は、親子でドラえもんトラムに乗車するなど、電車に乗ること自体を目的とした利用が多く見受けられる。こどもまんなか社会の実現を目指す本市としては、未就学児無料の人数制限のあり方も含め、親子での利用促進策について、関係団体等と協議していく。

農業政策

コシヒカリから富富富への転換に係る支援への考えは。

産業振興部長

富富富への転換は高温障害対策として有効な手段と考えられる。富富富の生産については、栽培基準への対応やコシヒカリと収穫期が重なることによる乾燥調整施設の確保などの課題があり、県では、富富富を生産しやすい環境整備や需要拡大に向けた取組を強化することとしている。本市では、関係機関と連携し、研修会の開催により情報提供を行うとともに、生産拡大に向けた環境づくりに取り組んでいきたい。



©藤子プロ

親子での万葉線の利用促進を



新開 広恵
公明党

新開議員の
質問の様子はこちら



更年期障害への対策

早期発見や適切な治療につなげるため、簡略更年期指数を用いたセルフチェックを推奨しては。

福祉保健部長

身体的・精神的な不調を感じても、更年期症状が分からない方などに、医療機関を受診する目安となるよう、セルフチェックできるシートを市ホームページで紹介している。今後は、地域での健康講座や事業所へのメールマガジンの配信など、更年期障害の正しい知識やセルフチェックの活用について情報発信し周知に努めていく。

女性人材バンクの利用状況

女性人材バンクを利用した方や企業等からの声は。

生活環境文化部長

マッチング成約に結び付いた事業所からは、良い人材を紹介してもらえたという喜びの声がある反面、成約につながらない事業所からは、求める有資格者

がないことや、面談を希望しても断られるという声が聞かれる。人材登録した方からは、自身の都合により働く日数や時間を考慮してくれることを喜ばれる反面、比較的多くの登録者が希望している在宅ワークの求人が少ないことや、求人登録をしている事業所の雰囲気等が分からず応募しづらいという声が聞かれる。今後は、在宅ワークの開拓のほか、事業所の職場環境や仕事内容をより知ってもらう取組に努めていく。

ヤングケアラーへの支援策

「ワンチームとやま」連携推進本部会議において、ヤングケアラーの支援に関する本市からの提案内容は。

福祉保健部長

ヤングケアラーについては、周知・啓発から一歩前に進めた支援策が必要であることから、県の実態調査により分かった「ヘルパーや家政婦の利用料金を割引してほしい」「子どもの負担を減らしてほしい」という意見を踏まえ、産後ヘルパーの枠組みを活用したヘルパー派遣の実施を提案している。



篠井 哲治
未来創政会

篠井議員の
質問の様子はこちら
▼



遊休資産の売却

岡 本市が保有する遊休資産の売却を進めては。

総務部長 本市が保有する未利用地は現在37件で、面積にして5万8373㎡である。これらの売却に向けて、年に2回、可能性の高いものから順次公募を行っている。令和5年度は8月に1件売却を行ったところであり、6年2月に2回目の公募を行う予定である。今後とも未利用地を売却できるよう努める。

稼ぐまちに向けて

岡 高岡のさらなる活性化について問う。

(1)物価、資源の高騰の中でも計画的かつ着実に市道の整備や維持管理を行うべきでは。

(2)市内観光施設共通クーポンのさらなる周知を図っては。

都市創造部長 (1)市道の整備と維持管理は、国道・県道を含めた利便性の高い交通ネットワークを構築し維持するた

めにも、計画的かつ着実に取り組む必要があると考えている。このため、物価高騰を見据えつつ、国道・県道の整備見通しを勘案した中長期の事業計画を立て、国・県への重点事業要望を通じた予算の確保や、国の補正予算の活用などにより、計画的な事業実施に努めている。また、適切な工期の設定により工事を発注するなど、着実な事業の実施に努めている。

産業振興部長 (2)現在、当該クーポンは、高岡駅や新高岡駅の観光案内所のほか、高岡御車山会館等でも販売している。近年はインターネットで事前に観光地をリサーチする旅行者が増加傾向にあることから、市の観光ポータルサイトのトップページに当該クーポンを表示し、閲覧者へ情報が行き届くよう工夫するとともに、J・R・西日本が提供する観光ナビサービスにクーポン情報を掲載する等、県外から高岡を訪れる観光客への周知に努めている。今後はSNSを活用し、クーポン情報のさらなる周知を図りたい。



一般質問 (一問一答)

今定例会では、5人が市政全般にわたり、一問一答方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



山口 泰祐
自由民主党
高岡市議会議員会

山口議員の
質問の様子はこちら
▼



ブライダル産業への支援

岡 多業種にまたがるブライダル産業への支援は本市経済の活性化に資すると思われるが、見解は。

市長 ブライダル産業には多様な業種が関係しており、その活性化は、地域における一定の経済波及効果が期待できるものと考ええる。結婚式に対する価値観はコロナ禍を経て多様化してきており、国では、事業環境の変化への対応や生産性向上を目的としたブライダル産業構造転換等促進事業を創設している。本市としては、この支援制度の活用状況やその効果等を見定めるとともに、県や市が有する融資や補助等の支援制度を広く周知し、活用いただくことで、市内ブライダル産業に関わる事

業者の取組を支援していく。

保育士の人材確保

岡 潜在保育士の再就労にもつなげるため、高岡市保育士等就労助成事業をさらに周知しては。

福祉保健部長 本事業については、潜在保育士の方も対象としており、市内私立保育園に正規保育士等として就労した場合には、助成金を支給することとしている。今後、市ホームページやSNSでの情報発信の継続に加え、市内私立園には、保育士等の採用活動の際に、この助成事業の紹介を引き続き依頼するなど、これまで以上の周知に努め、潜在保育士の再就労につなげていく。

デジタル技術の活用

岡 保育業務支援システムHoiic(ホイック)の導入保育園拡大の計画は。

福祉保健部長 Hoiicの導入保育園の職員と保護者に実施したアンケート結果を踏まえ、導入により職員の業務軽減と保護者の利便性向上が図



山上 尊士
公明党

山上議員の
質問の様子はこちら
▼



医療的ケア児への対応

岡 障害者手帳が交付される前の乳児にも医師の意見書で日常生活用具の給付を受けられるようにすべきと思われるが、見解は。

福祉保健部長 医療的ケア児のうち、難病患者については、症状が急速に進行するケースがあるため、障害者手帳の交付前であっても、医師の意見書により障がい級が手帳級相当と確認できれば、日常生活用具を支給する場合がある。医療的ケア児全般に対して、医師の意見書のみで給付を行うことについては、他市町村の事例などを参考に調査研究していきたい。

子育て環境の構築

問 誰一人取り残さない子育て環境の構築に向けた本市の思いは。

市長 子どもや家庭が抱える様々な課題に対して、福祉、保健、医療、教育などの関係部署が連携を図りながら、部局横断的に取り組んでいる。全ての妊産婦、子育て世帯、子どもたちに対して、包括的に相談支援を行っていくことが重要であり、妊娠期から誰一人取り残さず、切れ目のない子育て環境の充実を目指し、令和6年度からの体制の強化を検討していく。



育児教室の様子（写真は高岡子育て支援センター）

不登校に悩む親への支援

問 不登校の悩みを抱える親同士の交流の場があれば少しでも心の負担が和らげられる

のではと考えるが、見解は。

教育長 市教育センターでは、毎年、氷見市や射水市と合同で「高岡地域親の会」を年4回実施し、子育てや進路の悩み等について、教育相談員とともに保護者同士で話し合う場を設けている。また、市の適応指導教室では、令和5年度から親子交流活動を実施しており、絵手紙づくりや軽スポーツ等の活動を通して、親子で楽しんだり、同じ悩みをもつ保護者同士のつながりを深めたりする機会を設けている。



中村 清志
未来創政会

中村議員の
質問の様子はこちら



福岡駅前土地区画整理事業

問 福岡駅前土地区画整理事業の今後の予定は。

都市創造部長 令和7年度末の事業の完了を目指しており、5年度に道路や公園の整備に加え、宅地等の位置、形状、面積を確定するための測量や、土地などの権利関係の再調査を予定している。6年度には、換地計画の策定と換地処分、



福岡駅前土地区画整理事業

循環型社会の実現に向けて

7年度には、清算金の徴収・交付事務などを予定している。

問 モノの循環について問う。
(1) 剪定枝の処理について、近隣市（砺波地域）ではチップ化・堆肥化に向けた施策を設けているが、本市の考えは。
(2) 高岡駅前エリアで脱炭素体験設備を設置することだが、循環型社会を体感できるエリア・施設を整備しては。

生活環境文化部長 (1) 一般廃棄物処理業者に持ち込まれた剪定枝は、既にチップ化を行っている。ストックヤードでの回収分は、高岡広域エコ・クリーンセンターで燃やせるごみとして焼却し、熱エネルギーを活用して発電を行っており、資源化を目指し、

現在、民間事業者と協議を進めている。また、剪定枝の量が多く、ストックヤードから距離がある地域等の負担軽減とさらなる資源化に向けても方策を検討していく。

(2) 脱炭素先行地域の計画では、高岡駅前エリア全体をカーボンニュートラルが体感できるショールームとし、御旅屋セリオは拠点施設の一つとして、屋上に太陽光パネル、地下にリユースバッテリーを活用した蓄電池、水素発生装置、地下水ヒートポンプなどの設置を予定している。また、御旅屋セリオ前で回収するアルミを水素発生装置で活用するほか、最先端の循環型社会や脱炭素まちづくりの取組を紹介する映像放送やパネル展示を通して、市民が体感・体験でき、楽しみながら学び、身に付けることができる施設を整備していく。



出町 譲
高岡愛

出町議員の
質問の様子はこちら



学校再編

問 高陵中学校区の学校再編

について問う。

(1) 令和5年3月定例会の代表質問の場で、旧平米小学校のうち比較的新しい校舎の部分について、現在の教育センターの機能を拡充させた（仮称）教育総合支援センターを設置したいとの方向性が示されたが、いつごろの実現を目指しているのか。

(2) 高陵小学校の新校舎について、現在の高陵中学校の校舎や体育館、グラウンド、プールはそのまま使用する予定なのか。

(3) 地元からは、高陵小学校の新校舎に、旧平米小学校・旧定塚小学校のメモリアルルームを作ってほしいという声が聞かれるが、メモリアルルームの設置について、見解は。

教育長 (1)（仮称）教育総合支援センターの設置は、本市の教育課題の解決のため早急に取り組む必要があると考えている。住民説明会で説明した内容について、地元の方々の理解が得られれば、6年度以降、設計業務等を行うとともに、できるだけ早い時期に新校舎部分の改修工事等に取り掛かりたいと考えている。
(2) 校舎については、必要に応じて内部改修を行って有効活用するとともに、不足する部分について増築を行う予定と

9月定例会後～12月定例会前

- 9月29日 広報広聴委員会
10月 2日～3日
民生病院常任委員会行政視察
10日 港湾・公共交通対策特別委員会
11日 広報広聴委員会
12日 行財政改革特別委員会
17日 民生病院常任委員会
総務文教常任委員会
18日 産業建設常任委員会
議会報告会
23日～24日
行財政改革特別委員会行政視察
31日～11月1日
港湾・公共交通対策特別委員会
行政視察
11月 2日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
議会改革検討委員会
7日 決算特別委員会
水道病院決算特別委員会
8日 決算特別委員会及び現地視察
水道病院決算特別委員会
及び現地視察
14日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
15日 産業建設常任委員会
広報広聴委員会
16日 民生病院常任委員会
総務文教常任委員会
20日 港湾・公共交通対策特別委員会
21日 議会運営委員会
代表者会議
22日 行財政改革特別委員会
27日 正副常任委員長会議

12月定例会

- 12月 1日 代表者会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議(提案理由説明)
議案説明会
議会運営委員会
民生病院常任委員会
産業建設常任委員会
総務文教常任委員会
広報広聴委員会
7日 本会議(一般質問(一括))
8日 本会議(一般質問(一括))
12日 議会運営委員会
議会改革検討委員会
13日 代表者会議
本会議(一般質問(一問一答))
14日 代表者会議
民生病院常任委員会
産業建設常任委員会
15日 議会運営委員会
議会改革検討委員会
総務文教常任委員会
委員長会議
20日 議会運営委員会
議員協議会
本会議(議案など議決)
民生病院常任委員会
産業建設常任委員会
総務文教常任委員会

している。体育館についてはそのまま利用することとし、さらに8年度から9年度にかけて予定している2期工事においては、グラウンドの一部を活用し、校舎に併設する形で第2体育館を整備することとしている。また、プールについては10年度に改修を予定している。

(3)4年度に開催した住民説明会でも同様の意見を伺っており、小中一貫校の校舎内にメモリアルスペースを設置するほか、旧平米小学校・旧定塚小学校ゆかりの品を保管できる部屋などを整備する予定である。

市民病院の今後のあり方

市民病院を含めた地域医療体制の充実に向けた本市の考えは。

市長 団塊世代が75歳以上になる2025年、団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年に向け、医療と介護の両方のニーズを併せ持つ高齢者が増加することが見込まれる。このため、急性期の治療



坂林 永喜
永 友 会

坂林議員の
質問の様子はこちら



後の在宅復帰を目指す回復期の医療の受け皿や、退院後の生活を支える在宅医療と介護の提供体制を充実するとともに、体調の変化などに応じて適切な医療が受けられる体制を守ることが重要になってくる。本市としては、関係自治体や医療機関との一層の連携のもと、ニーズの変化に応じた病床の見直しや、医療・介護等の包括的な提供体制の構築、急変時の救急医療体制の堅持等に取り組んでいくことが必要であると考えている。

子どものスポーツ環境の充実

子どもがスポーツに親しめる地域スポーツのあり方は。教育長 本市では、幼児期か



野村地区で発足したサッカークラブチーム

ら運動習慣を身につけられるよう、うんどう遊びアドバイザー派遣事業に取り組んでいる。また、市体育協会、スポーツ少年団等の地域のスポーツ団体と連携し、生涯にわたる、楽しむスポーツから競技スポーツまで幅広く活動できるように、引き続き、スポーツ

多機能地域自治

本市が目指す多機能地域自治のあり方は。

市長 本市が考える多機能地域自治は、連合自治会を核に、様々な年代で構成される各種地域団体の力を一つに結集して、地域を運営する仕組みであり、地域の方々がこの仕組みを活用し、自ら課題解決に取り組んでいただくことを期待している。運営にあたっては、担い手の確保に苦慮している現状にあり、若い世代にも参画を促すなど、将来にわたる持続可能な地域づくりの実現に向け、市としても支援していく。

委員会の動き

常任委員会では、当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。委員からの主な質疑と当局からの答弁は次のとおりです。

○総務文教常任委員会

問 高岡西部中学校区統合小学校校舎改修、増築に係る工事請負契約の変更について、令和6年4月に開校予定だが、第1期工事の進捗状況は。また、第2期工事の現況は。

答 第1期工事は、工期が6年1月30日までで、おおむね完了している。現在、第2期工事に向けて実施設計を行っており、6年度から始まる西条小学校の解体工事等の完了

後に第2期工事を始める予定で、工期は6年度から8年度までを想定している。

○民生病院常任委員会

問 戸籍事務費について、カタカナ表記をするためのシステム改修を実施する背景は。

答 マイナンバーカードの利便性向上のため、法律が改正され、戸籍等の記載事項に氏名の振り仮名の追加が規定された。行政機関の保有する氏名の情報の多くは漢字で、常用漢字でないものが使用されている場合、データの登録が複雑で、検索や特定に時間を要している。氏名の振り仮名を一意のものに特定し、公証する必要があるという観点で実施されるものである。

○産業建設常任委員会

問 市単独農業土木事業費、農林水産施設災害復旧費について、令和5年7月の大雨災害による被害の復旧状況は。

答 被災箇所数は、8月末時点で農地が63箇所、ため池が3箇所、林道が23路線であったが、その後に農地の被害



令和5年7月の大雨災害からの復旧が進む

が10箇所程度増加している。復旧状況としては、林道は土砂撤去がほぼ完了しているが、国の補助査定を受けた1路線のみ通行止めとなっている。農地は9割程度の復旧が完了しているが、大規模な被災箇所は6年度に復旧予定である。

用語解説コーナー

サーキュラーエコノミー

※4ページ掲載
循環経済のことで、資源や製品を循環させるだけでなく、その循環の中で付加価値を生み出すことにより、経済成長と環境負荷軽減を両立する考え方。

プレ妊活健診

※6ページ掲載
夫婦それぞれの健康状態のチェックとあわせて、妊娠に関する正しい知識を専門家から学ぶことで、早期治療につなげるとともに、将来の妊娠に向けた健康管理の推進が期待される。

3月定例会の予定

3月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、2月21日開催予定の議会運営委員会で決定されます。

- 1日 11時 議員協議会
- 13時 本会議（提案理由説明）
- 4日 13時 本会議（追加提案理由説明）
- 6日 10時 本会議（代表質問）
- 11日 10時 本会議（一般質問（一括））
- 12日 10時 本会議（一般質問（一括））
- 13日 9時 議会運営委員会
- 10時 本会議（一般質問（一括）予備日）
- 15日 10時 本会議（一般質問（一問一答））
- 19日 10時 民生病院常任委員会
- 21日 9時 代表者会議
- 10時 産業建設常任委員会
- 22日 9時 議会運営委員会
- 10時 総務文教常任委員会
- 26日 9時30分 委員長会議
- 10時 議会運営委員会
- 11時 議員協議会
- 13時 本会議（議案など議決）

詳しい内容については、高岡市議会事務局（☎20-1531）までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名（うち車椅子利用者は5名）まで、委員会は7名まで傍聴できます。

9月定例会以降の傍聴者数

	本会議	委員会
令和5年 10月	—	1人
11月	—	1人
12月	97人	3人

編集後記

世界ではいまだ終わりの見えない争いが続き、何の罪もない多くの方々がその犠牲となっています。また、国内では物価上昇やエネルギー、燃料費の高騰が長引いています。

このような暗いニュースが重なる一方で、令和5年11月に本市は富山県内の自治体としては初めて、環境省の脱炭素先行地域に選定されました。今後、中心市街地エリアなどにおいて、脱炭素×資源循環で実現する環境と経済をテーマに「脱炭素未来都市高岡の挑戦」が始まります。中心市街地の求心力のさらなる強化や、交流人口の拡大に加え、にぎわいの創出にも期待が高まります。

また、12月定例会では新たな議長、副議長が就任し、各委員会も新メンバーでスタートを切りました。新たな体制で、気持ちを新たに、市民の皆様へ寄り添い、より良い高岡になっていくように取り組んでまいります。

（山上記）

★編集委員

◎中村 ○山上

梅島、田中、熊木、埜田、高岡、酒井、山口、中川

（◎委員長 ○副委員長）